

第2次大津市地域公共交通計画(骨子案)について

令和7年9月25日
建設部 地域交通政策課

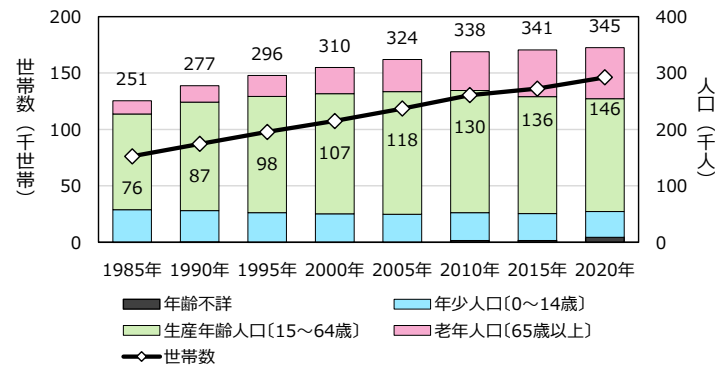
1 大津市の現状	P 3
(1) 大津市の地域の特性	P 3
(2) 大津市の交通の特性	P 5
(3) 大津市の地域公共交通に関する意見	P 9
(4) 大津市の交通手段等の役割	P14
(5) 現行計画の振り返り	P15
2 計画骨子案	P16
(1) 計画の基本方針(案)	P16
(2) 取組の方向性(案)と施策(案)	P18
(3) 指標(案)	P19
(4) 推進体制(案)	P20
3 計画素案の策定に向けて	P21
(1) 地域公共交通計画の実質化に向けた検討会の提言	P21
(2) アップデートガイダンスのポイント	P21

(1) 大津市の地域特性

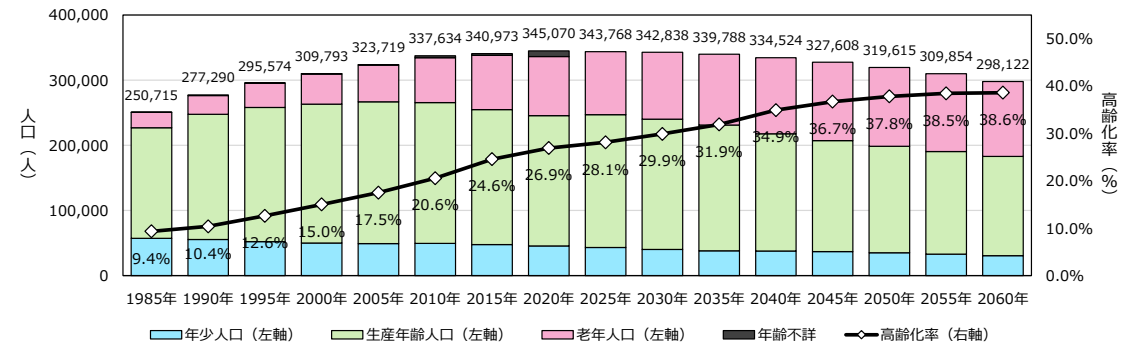
① 大津市の人口、世帯数、高齢化率、将来推計人口

- ・ 近年、総人口は横ばい傾向だが少子高齢化は進展。【図1】
- ・ 老年人口は増加し、2060年(令和42年)には高齢化率は約39%になる見込み。【図2】

【図1】 年齢3区分別人口と世帯数の推移



【図2】 将来推計人口



※出典／資料 1985～2020年は国勢調査
2025～2060年は第3期大津市人口ビジョンにおける推計

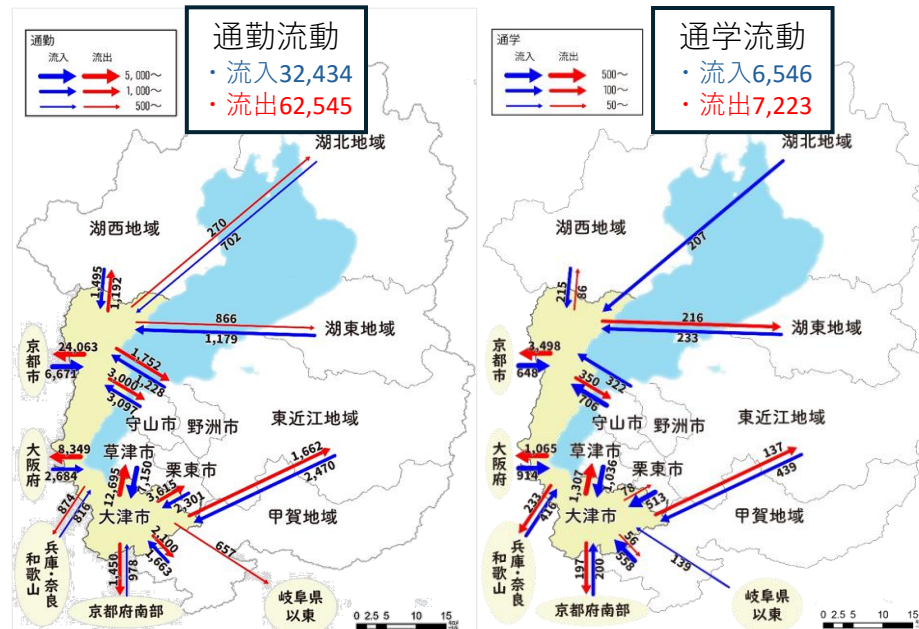
※出典／資料 国勢調査

(1) 大津市の地域特性

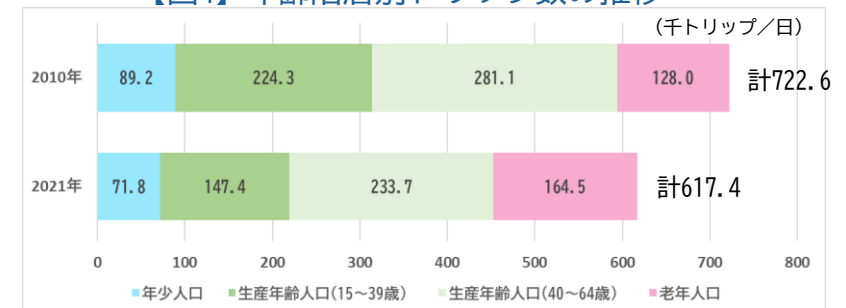
② 通勤・通学流動

- ・通勤流動は全体で流入より流出が多く、流出先は京都市、草津市が多い。【図3左】
- ・通学流動は全体で流入より流出が多く、流出先は京都市、草津市、大阪市が多い。【図3右】
- ・人の移動（トリップ数）は若年層の移動は減少し、高齢者層の移動は増加。【図4】
- ・本市の目的別発生集中量は出勤目的がやや増加し、それ以外は減少。【図5】

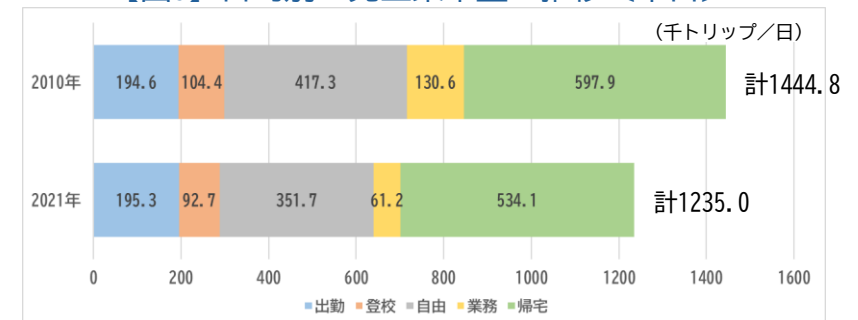
【図3】 通勤・通学流動



【図4】 年齢階層別トリップ数の推移



【図5】 目的別の発生集中量の推移〔平日〕



※出典/資料 令和2(2020)年国勢調査(15歳以上の就業者・通学者)

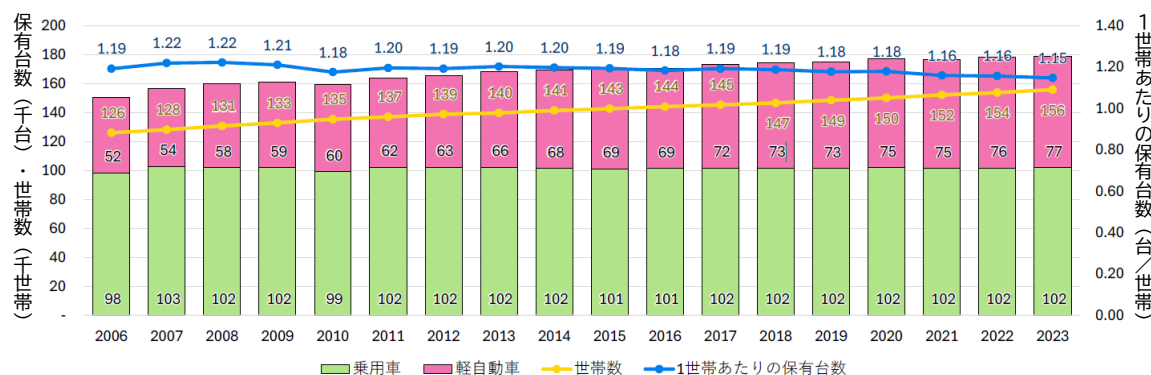
※出典/資料 近畿圏パーソントリップ調査

(2) 大津市の交通の特性

① 自動車交通

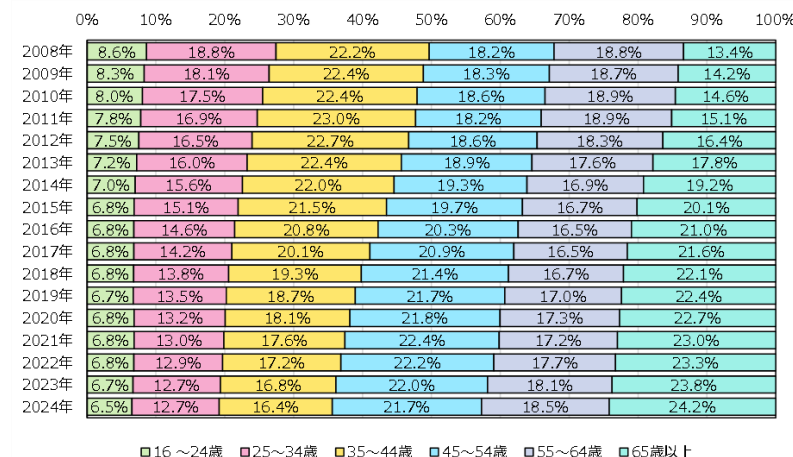
- ・自動車保有台数は、軽自動車は増加傾向、乗用車は2011年(平成23年)以降横ばい傾向。【図6】
- ・免許人口割合は、若年層が減少する一方で、高齢者層は増加傾向。【図7】

【図6】 自動車保有台数の推移



※出典／資料 大津市統計年鑑。世帯数は住民基本台帳

【図7】 免許人口割合の推移



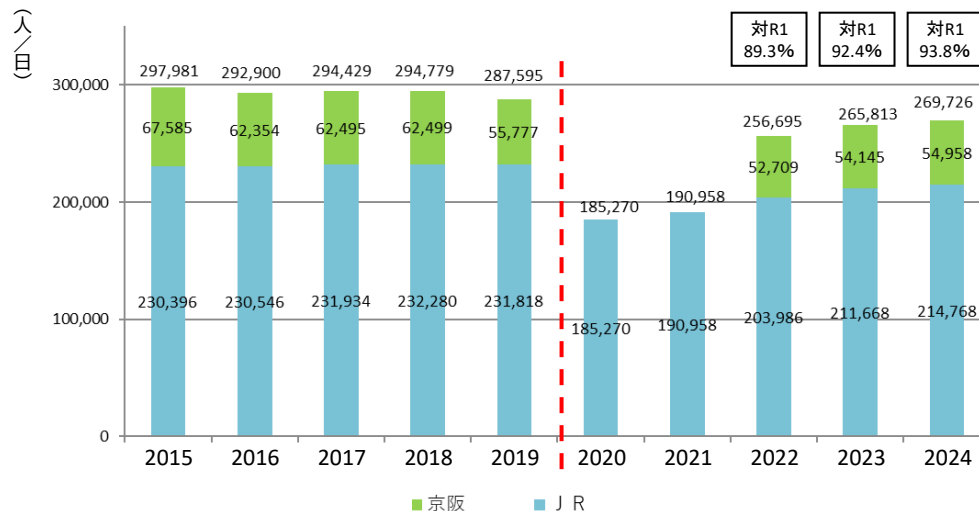
※出典／資料 滋賀県警察本部提供資料

(2) 大津市の交通の特性

② 鉄道

- ・鉄道の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年(令和2年)に減少し、以降は回復基調。【図8】
- ・JRは京阪電車より定期割合が多く、通勤・通学目的の利用が多いと推察。【図9】

【図8】 鉄道の利用者数の推移

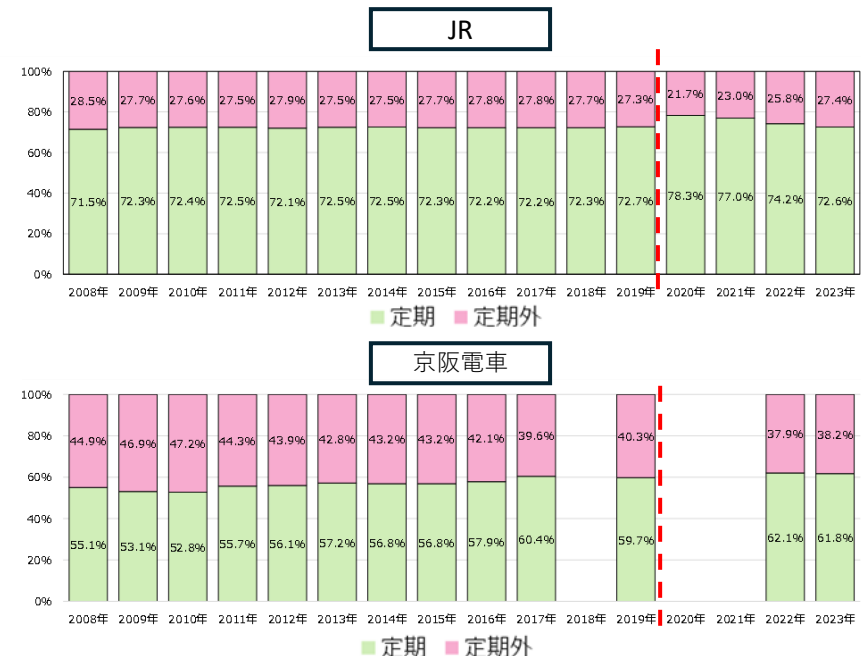


※出典／資料 大津市鉄道に関する利用実態調査

※鉄道の利用者数 : (京阪電気鉄道) 2020、2021年度は調査未実施。

定期・定期外割合の推移 : (京阪電気鉄道) 2018、2020、2021年度は調査未実施。

【図9】 定期・定期外割合の推移



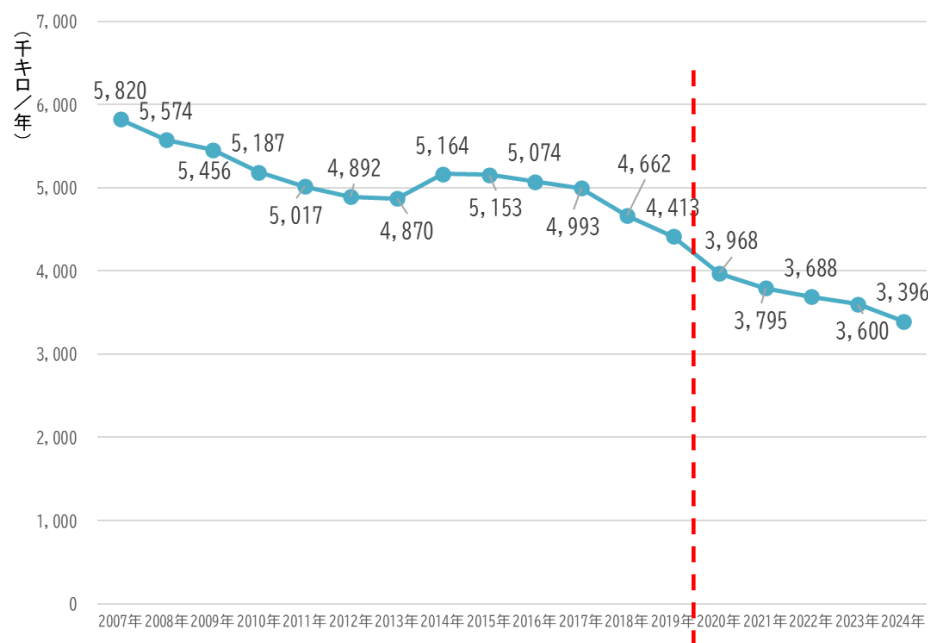
※出典／資料 大津市統計年鑑

(2) 大津市の交通の特性

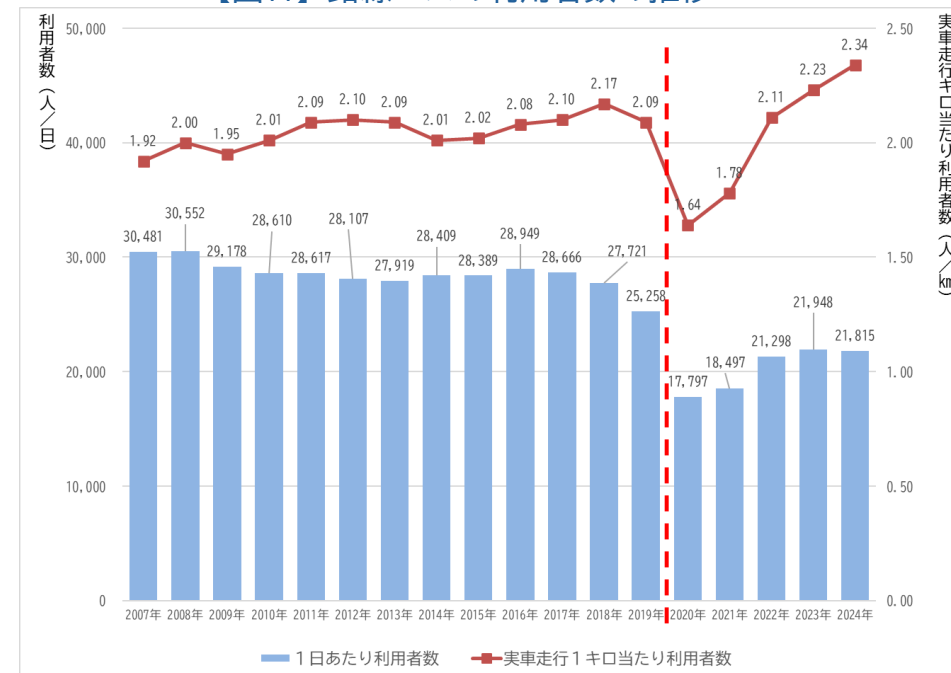
③ 路線バス

- ・ 路線バスの実車走行キロは、2015年(平成27年)以降は減少傾向。【図10】
- ・ 路線バスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による2020年(令和2年)の激減後、回復しつつあったが、2024年(令和6年)減少に転じる。【図11】

【図10】 実車走行キロの推移（バス事業者4社計）



【図11】 路線バスの利用者数の推移



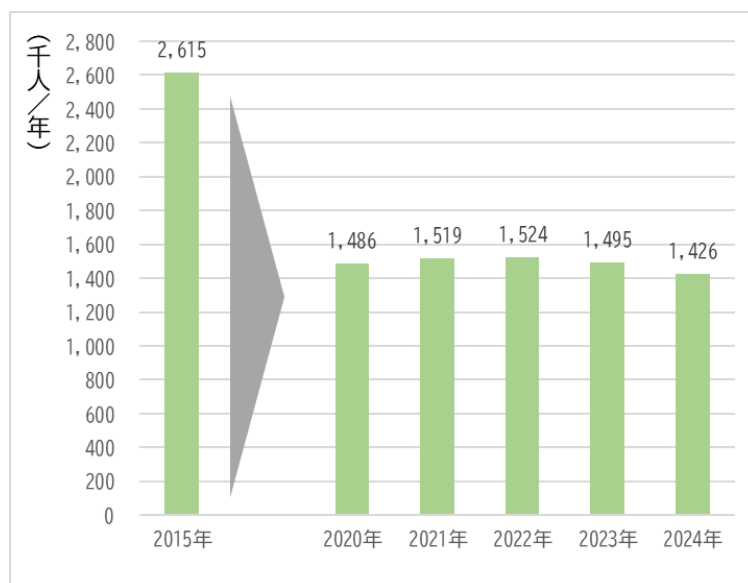
※出典／資料 大津市調べ

(2) 大津市の交通の特性

④ 一般タクシー・デマンド型乗合タクシー「光ルくん号」

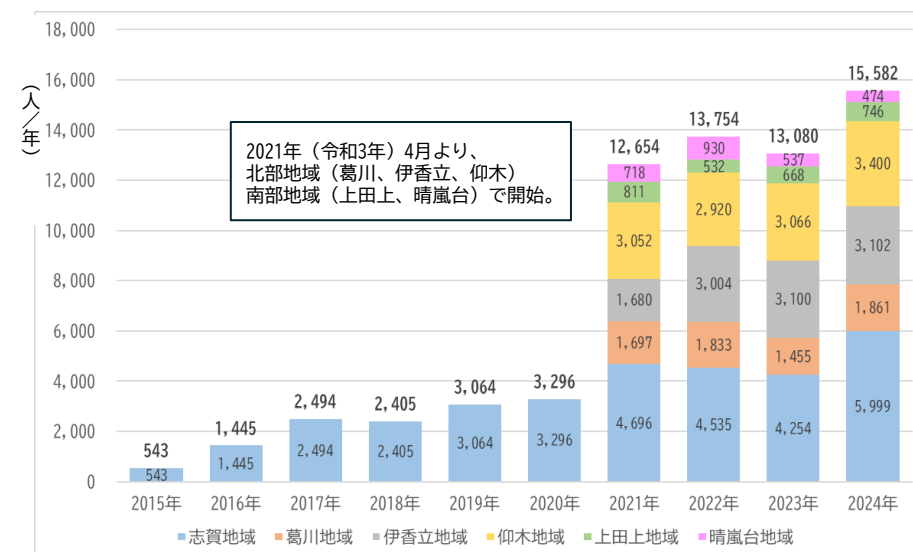
- ・一般タクシーの年間利用者数は、約262万人(2015年度(平成27年度)実績)から約143万人(2024年度(令和6年度)実績)に減少。【図12】
- ・デマンド型乗合タクシーの年間利用者数は、約1.3万人(2021年度(令和3年度)実績)から約1.6万人(2024年度(令和6年度)実績)に増加し、地域の移動手段として定着。【図13】

【図12】 タクシーの年間利用者数（個人タクシー除く）



※出典／資料 タクシー協会及び事業者ヒアリング

【図13】 地域別デマンド型乗合タクシーの年間利用者数



※出典／資料 大津市調べ

(3) 大津市の地域公共交通に関する意見

① 市民等への移動に関するアンケート調査

【高校生へのアンケート調査】

- ・対象者 : 市内の高校生
- ・調査期間 : 令和7年6～7月
- ・調査方法 : インターネット
- ・回答数 : 4,668名

大津市 電子申請サービス 申請・届け出アンケート 市長への 質問箱 メニュー

ふだんの通学や外出に関するアンケートについて

普段の通学手段を選択してください。 **必須**

(あてはまるものすべてにチェックをしてください)

☐ 鉄道 (JR琵琶湖線)

☐ 鉄道 (JR湖西線)

☐ 鉄道 (京阪本線)

【街頭でのアンケート調査】

- ・対象者 : 鉄道・路線バスの利用者
- ・調査日 : 令和7年6月17、18、21日
- ・調査場所 : JR(堅田駅、大津京駅、大津駅、膳所駅、石山駅)
京阪(京阪大津京駅、びわ湖浜大津駅、京阪膳所駅、京阪石山駅)
- ・調査方法 : 聞き取り、調査票の配布
- ・回答数 : 773名



【デマンド型乗合タクシーアンケート調査】

- ・対象者 : 「光ルくん号」の利用者
- ・調査期間 : 令和7年6～7月
- ・調査方法 : 乗車時に配布
- ・回答数 : 105名

のりあいタクシー『光ルくん号』利用者へのアンケート

日頃から大津市の市政各局にわたり、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
現在、大津市では、地域公共交通の将来のあり方を検討するため、地域公共交通の利用者の声をお願いしております。ご協力いただけますと幸いです。

※この調査票は、あなたが受け取った際に利用していたのりあいタクシー『光ルくん号』についてご回答ください。
※ご回答いただいた調査票は、2025年6月●日(●)までに、調査票と一緒に返信用封筒に入れて郵送してください。
※ご回答は、個人が特定されないよう統計処理し、本市のまちづくりに利用させていただきます。
お問い合わせ先: 大津市建設部 地域交通政策課 TEL: 077-528-2726

◆ 普段の『光ルくん号』の利用についてお尋ねします。

質問1 『光ルくん号』を利用する際の主な外出目的を教えてください。【〇は最大2つ】

1. 通学 2. 買い物 3. 買い物 4. 通学・見物 5. 娯楽・飲食等
6. 買い物・散歩等 7. スポーツ・レジャー 8. 旅行・観光 9. 手続き (支店・銀行等) 10. その他

質問2 『光ルくん号』を利用する際の主な外出先を教えてください。【〇はいくつでも】

1. 北小松駅 2. 近江舞子駅 3. 比良駅 4. 志賀駅 5. 膳所駅 6. 和濃駅
7. 小野駅 8. 平和堂和濃店 9. 大津赤十字志賀病院 10. 東医院
11. 北沢医院 12. ふくた診療所 13. 祐森クリニック 14. 中井医院 15. 和濃診療所
16. その他()

質問3 『光ルくん号』の利用頻度を教えてください。【〇は1つ】

【一般向けアンケート調査】

- ・対象者 : 市民等
- ・調査期間 : 令和7年7月1日～8月31日
- ・調査方法 : インターネット
- ・回答数 : 672名

(3) 大津市の地域公共交通に関する意見

② 市民等の意見

地域公共交通の運行

- ・路線バスの**運行本数が少なく**、利用しづらい。
- ・鉄道の**終電時間が早い**ので、遅くしてほしい。
- ・タクシーの予約時に電話が繋がらない。当日だと予約できない。
- ・鉄道駅までの二次交通（路線バスなど）がない。
- ・特定の時間帯の鉄道や路線バスが混雑して、利用しづらい。
- ・ベビーカー利用だと、混雑した電車は利用しづらく、自家用車を利用する。
- ・名所、旧跡を訪ねたいが交通機関がなく不便。
- ・将来路線バスが廃線にならないか不安。
- ・デマンド型乗合タクシーが自宅前で乗降できず不便。

高校生の意見

- ・部活帰りが遅いので、**路線バスの便数を増やしてほしい**。
- ・駅員がいなくてトラブルの対応が遅くなる。
- ・鉄道間の**ダイヤを調整**してほしい。
- ・朝の電車が混雑しすぎなので、増便してほしい。
- ・バスの到着時刻があいまいで、わかりづらい。
- ・電話対応窓口が増え、耳の不自由な人が切符購入に困る。
- ・通学の時、車両が少ないので一度に乘れないことがある。
- ・鉄道のダイヤが少なく、**塾から帰る時間が遅くなる**。
- ・バス停を増やしてほしい。
- ・雨の日、電車やバスが遅延して、遅刻する人が多い。

車両・待合施設

- ・鉄道駅のホームのバリアフリーが**未整備**で、高齢者やベビーカーでは利用しづらい。
- ・車いすや障害者の乗降が**大変**。
- ・鉄道駅の待合室に冷暖房を整備してほしい。

高校生の意見

- ・駅構内で日差しや雨が防げない。トイレがない駅がある。
- ・駅のホームが狭く、通学時に危険。
- ・鉄道駅に**スロープ**がなくて不便。
- ・エレベーターやエスカレーターがあれば、**高齢者や子育て世代も利用しやすくなる**。
- ・バス停に屋根（日陰）を付けてほしい。
- ・鉄道駅に給水器を設置してほしい。
- ・**ノンステップバスを増やしてほしい**。

地域公共交通の運賃・決済手段

- ・**路線バスの運賃が高い**。
- ・交通事業者によって、**交通系ICカードが使えない**。

高校生の意見

- ・バーコード決済ができるようにしてほしい。
- ・**交通系ICカードが使えないバスがあって不便**。
- ・バスでぴったりの小銭がないと、気まずい、いつ両替したらいいかわからない。
- ・路線バスの運賃支払いで両替するのに時間がかかって、列になるのが嫌。
- ・京都のようにバス運賃が定額になる地域を作してほしい。

(3) 大津市の地域公共交通に関する意見

② 市民等の意見

子ども・高齢者の不安

- ・路線バスが廃線となり、**高校生の子どもを最寄りの鉄道駅まで送迎する必要があり不便。**
- ・路線バスのダイヤが少なく、**中学生の登下校が非常に不便。**
- ・子どもが高校生になったときの最寄りの鉄道駅までの交通手段があるか不安。
- ・歳を重ね、**荷物をもってバスを利用するのが厳しい。**

高校生の意見

- ・住んでいる地域は路線バスが少なく、**進学する高校が限られてしまう。**
- ・鉄道駅から学校までの直通バスを出してほしい

その他

- ・**高齢者はインターネットになじみがなく、買い物に利用しづらい。**
- ・路線バスの行き先を調べるのが難しい。どこを走っているか、停留所名を見てもわからない。
- ・幼稚園等の送迎バスを、通園時間以外は地域の無料循環バスとして利用できないか。

免許返納の不安

- ・路線バスの廃線により、**運転免許証返納後の移動が不安。**
- ・**身体が不自由で自家用車に頼らざるを得ない、タクシーは高くて将来が不安。**
- ・免許返納すると出かけづらくなるので不安。
- ・路線バスの敬老バスがあると、運転免許証の返納がしやすい。

(3) 大津市の地域公共交通に関する意見

③ 交通事業者（鉄道事業者）の意見

事業運営上の課題

<人員体制>

- ・ 運転手や整備士の減少。

<収支状況>

- ・ 物価の高騰や人件費の増加による利益圧迫。

期待する行政の支援

- ・ 滋賀県が検討を進める新たな税のあり方に関心がある。
- ・ 運転手や整備士等の人材を求めていることの周知。
- ・ 鉄道利用と連動したまちづくりの推進。
- ・ 各種キャンペーンを通じた連携。

④ 交通事業者（バス事業者）の意見

事業運営上の課題

<人員体制>

- ・ 慢性的な運転手不足。（人材定着が困難、退職者の多さ）

<収支状況>

- ・ 燃料費、車両費等の高騰。
- ・ 設備投資、車両修繕費の増加。
- ・ 運転手の賃金アップ等の待遇改善による人件費の増加。
- ・ 不採算路線の見直しや利用の少ない早朝深夜便の減便。

期待する行政の支援

- ・ 「路線バスに今乗らないと将来はなくなる」という周知啓発
- ・ 路線維持や設備投資のための経済的支援
- ・ バス事業継続に向けた人的支援、斡旋
- ・ ハローワーク等の採用窓口の強化
- ・ 大型自動車第二種運転免許証の取得支援事業の費用負担
- ・ 市民の定期券購入補助
- ・ 高齢化する団地等への移動手段の検討（公的支援・運営）

今後の展望

- ・ 人口減少やコロナ禍以降の生活様式の変化等もあり、大幅な利用者数の増加は見込みにくい。
- ・ 乗務員不足の対応で手一杯。

運転免許証返納者への対応

- ・ 運転免許証返納者向けサービスの実施は、内容次第。経済的な面や運転手のオペレーションの負担増等になることは厳しい。
- ・ 公的補助がなければ、前向きな検討はできない。
- ・ 運転免許証返納者が、路線バスの利用者になると言い切れないため、検討はできない。

(3) 大津市の地域公共交通に関する意見

⑤ 交通事業者（タクシー事業者）の意見

事業運営上の課題

<人員体制>

- ・ 運転手の確保が厳しい。

<収支状況>

- ・ タクシーアプリ使用料の支払いが利益を圧迫。
- ・ L P ガススタンドが減少し、L P G車が燃料を補給しづらくなり、ガソリン車の調達を進め、調達費用がかかる。
- ・ 更新したいが手頃な車両がない。
- ・ 燃料費等の物価高騰
- ・ 物価高騰や人件費の増加分を、タクシー運賃に十分に反映できていない。
- ・ 各種割引制度（障害者割、免許返納者割引）による収益圧迫。

今後の展望

- ・ 運転手を確保し、迅速に配車できる体制の確立を図る。
- ・ 運転手不足で事業存続の危機。

期待する行政の支援

- ・ 助成金・補助金の拡充
- ・ 各種割引制度に対する直接の補填
- ・ 観光客やビジネスマンの誘致

運転免許証返納者への対応

- ・ 既に取組は行っており、運転免許証返納者が増加していく中、更なる拡充は難しい。

利用者数

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大以前の水準に戻っていない。
- ・ 夜の利用者が大幅に減少。

予約への対応

- ・ 天候、時間帯、曜日によって、予約への対応が難しい。
- ・ 夜中の予約への対応が難しい。
- ・ 得意先を優先するため、新規客への対応が難しい。
- ・ 乗務員が足りず、時間指定の予約への対応が難しい。

(4) 大津市の交通手段等の役割

- ・ 鉄道を幹とし、路線バス等を枝葉とした地域公共交通ネットワークが形成されている。
- ・ 地域公共交通ネットワークを補完する移動手段が存在する。

分類	交通手段等	該当する 交通機関、路線等	現行計画	役割	輸送量
地域公共交通	幹	鉄道	基幹ネットワーク	広域的な輸送	大
		路線バス			中
	枝	路線バス	拠点間ネットワーク	拠点間の輸送	中
		近江大橋線、京都比叡平線 等	市外アクセスネットワーク	市内拠点と隣接市主要駅間の輸送	
	葉	路線バス デマンド型乗合タクシー	拠点アクセスネットワーク	拠点と最終目的地間の輸送	中小
		タクシー	—	個別需要に応じた輸送	小
地域公共交通の補完	公共ライドシェア — 自家用有償旅客運送 — 道路運送法第78条第2号	交通空白地有償運送 (市内実績なし)	拠点アクセスネットワーク	一般旅客自動車運送事業者による ことが困難な地域での輸送	—
		福祉有償運送		一般的なバス等の利用が困難な要介護者や障害者等の輸送	小
	日本版ライドシェア — 自家用車活用事業 — 道路運送法第78条第3号	市内の許可事業者3社	—	タクシー不足が深刻な曜日、時間帯に限定した輸送等	小
	無償運送	ボランティア輸送 (葛川、和邇等)	—	・ 地域の共助による輸送 ・ 買い物、通院等暮らしの移動支援	小

(5) 現行計画の振り返り

- ・ 鉄道の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準まで回復しておらず、鉄道の利用促進に向けた取組が求められる。
- ・ 路線バスの実車走行キロあたりの利用者数や国・県・市が補助するバス路線の収支率は目標を達成するも、改善基準告示への対応や運転手の担い手不足、燃料費の高騰など経営環境は厳しさを増していることから、路線バスの路線維持・確保に向けた取組が求められる。
- ・ 交通課題解決に向けた地域主体の取組は目標を達成しておらず、地域公共交通の維持、確保に向けた市民等への啓発や利用促進策の対応が求められる。

指標		目標値(R7年度)	実績(R6年度)
鉄道の利用者数	J R	R元年度水準（231,818人/日）を維持	214,768人/日
	京阪電車	R元年度水準（55,777人/日）を維持	54,958人/日
路線バスの実車走行キロあたりの利用者数		R元年度水準（2.09人/km）を維持	2.34人/km
路線維持のために国・県・市が補助するバス路線の収支率		R元年度水準（52.7%）を維持	63.1%
地域公共交通サービス全般に対する大津市の財政負担額		R2年度水準（178,613千円）を維持	96,089千円 (R6年度実績)
公共交通による人口カバー率		93%	分析中
地域の交通課題を解決するために地域が主体となって検討・協議・運営等を行う取組の数		14件	10件

(1) 計画の基本方針(案)

① 目指すべき地域の将来像

大津市総合計画のまちづくりの基本理念・将来都市像、大津市都市計画マスタープランのまちづくりの理念・まちづくりの目標・将来都市構造の基本的な考え方を踏まえ、**引き続き、現行計画の目指すべき地域の将来像を継続する。**

安全、安心、快適に住み続けたいコンパクトで持続可能なまち

～古都大津の自然、歴史、文化を生かした協働のまちづくり～

大津市総合計画
＜計画期間：2017年～2028年(12年間)＞

【まちづくりの基本理念】

1. **持続可能な**都市経営
2. **共助社会**の確立
3. **自然、歴史、文化**の保全、再生、活用

【将来都市像】

ひと、自然、歴史の縁で織りなす
住み続けたいまち“大津再生”

～コンパクトで持続可能なまちへの変革～

大津市都市計画マスタープラン
＜計画期間：2017年～2031年(15年間)＞

【まちづくりの理念】

- ・安全・安心・快適都市 **持続可能でコンパクトな大津の構築**
- ・自然、歴史、文化を生かす 観光やにぎわい交流の創出
- ・ともに創る協働のまち 定住環境の創造

【まちづくりの目標】

- ①人口減少社会における住み続けられるコンパクトなまちづくり
- ②古都大津の自然、歴史、文化を生かした魅力あふれるまちづくり
- ③地域のにぎわいを創る協働のまちづくり

【将来都市構造の基本的な考え方】

コンパクト+ネットワークによるまちづくり：人口減少下でも生活利便性が確保された拠点の充実と、公共交通により拠点を相互に結ぶ都市構造とする

(1) 計画の基本方針(案)

② 地域公共交通の目標像

目指すべき地域の将来像を踏まえ、引き続き、現行の地域公共交通の目標像を継続する。

- ・ 目標像1 誰もが安全・快適で、安心して暮らせる地域公共交通
- ・ 目標像2 大津市の地域資源を生かし、地域の活力を育む地域公共交通

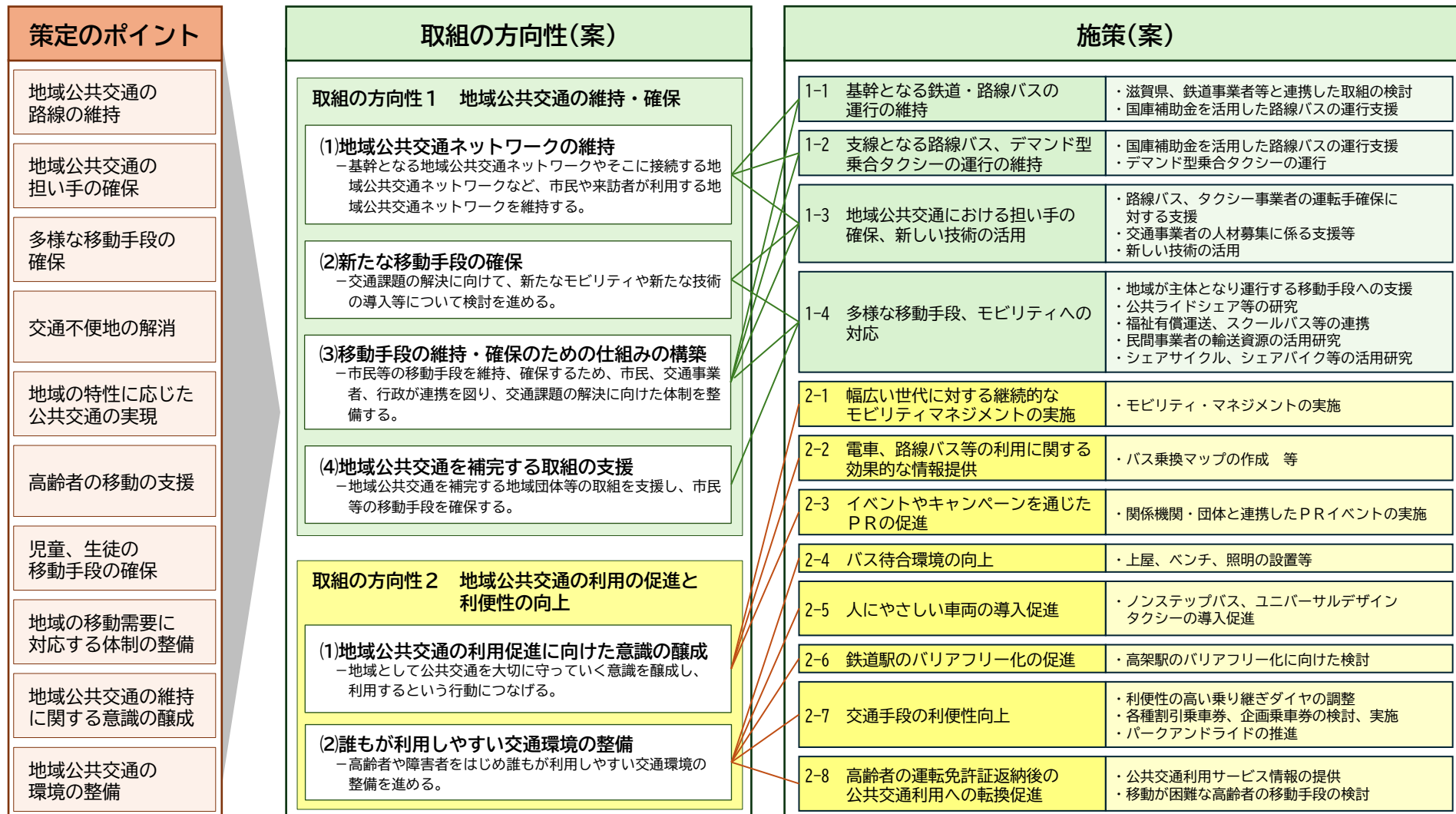
③ 計画の区域

大津市全域

④ 計画の対象期間

2026年度(令和8年度)から2030年度(令和12年度)までの5年間

(2) 取組の方向性(案)と施策(案)



(3) 指標(案)

- ・ 現行計画の指標の目標値について、路線単位、事業者単位で評価。
- ・ 新たに、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入率を追加。

現行計画の指標
公共交通の人口カバー率
鉄道の利用者数
地域公共交通サービス全般に対する大津市の財政負担額
路線維持のために国・県・市が補助するバス路線の収支率
路線バスの実車走行キロ当たりの利用者数

次期計画で見送る指標
地域の交通課題を解決するために地域が主体となって検討・協議・運営等を行う取組みの数

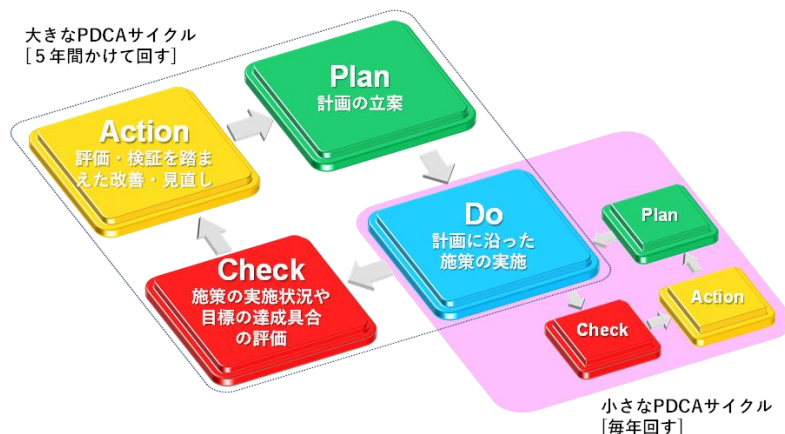
指標(案) (継続)	内容
地域公共交通カバー率 (人口)	鉄道駅から800m、路線バスやデマンド型乗合タクシーの停留所から300mの範囲内の人口を総人口で除して得た値。
地域公共交通の利用者数 (鉄道、 路線バス 、 デマンド型乗合タクシー) ※事業者単位で評価	大津市内の1日あたりの利用者数。
補助対象路線 の本市財政負担額 ※ 路線単位 で評価	大津市地域バス路線運行等対策費補助金の交付額。
補助対象路線の収支率 ※ 路線単位 で評価	大津市地域バス路線運行等対策費補助金の補助対象路線の収支率。
路線バスの実車走行キロ当たりの利用者数 ※ 路線単位 で評価	路線バスの利用者数を実車走行キロで除して得た値。

指標(案) (新規)	内容
ノンステップバスの導入率	ノンステップバス車両数を路線バス総車両数で除して得た値。
ユニバーサルデザインタクシーの導入率	大津市域交通圏内のユニバーサルデザインタクシーの車両数を総車両数で除して得た値。

(4) 推進体制(案)

- ・ 短いスパンでの自己評価と進行管理を行い、必要に応じて改善。【図14】
- ・ 1年間の成果を総括し、次年度の見直し提言のための全体評価を毎年実施。【図15】
- ・ 機動的な施策の実行、見直しを図るため、行政と交通事業者等が定期的、継続的に連携・共有・協議を行う仕組みの検討。

【図14】計画の継続的な推進のイメージ



【図15】スケジュールイメージ

	1年目				2年目以降	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
協議結果の展開先			●予算要求等		●計画認定申請 (国補助金)	
法定協議会	●期初報告 (5月頃) ・計画推進のための キックオフ - 評価体制の確認 - 取組方針の協議		●中間報告 (1月頃) ・当該年度の総括 ・次年度の取組を 決定		●期初報告 (5月頃) ・前年度の総括を基 に、2年目の取組 方針を協議	

3 計画素案の策定に向けて

地域公共交通計画の実質化に向けた検討会の中間とりまとめや国の作成した地域公共交通計画の「アップデートガイダンス」を踏まえ、第2次大津市地域公共交通計画を策定する。

(1) 地域公共交通計画の実質化に向けた検討会*の提言

- ・ 自家用車に頼りすぎることなく誰でも気兼ねなくおでかけできる社会の実現を目指し、地域公共交通計画には、司令塔、実行機能やデータ活用の強化・拡張など「アップデート」が求められる。

(*)国土交通省公共交通政策審議官部門が事務局を担い、大学教授等の有識者により構成された会議体。



※出典／資料 検討会の中間とりまとめより抜粋

(2) アップデートガイダンスのポイント

① 構成の見直し

- ・ 現状整理の比重を下げて、今後の取組の指針を中心とした構成の見直しを図る。

② データを活用した計画の策定

- ・ 統計データやモビリティデータを活用し、交通の課題や将来の見通しを可視化し、施策の解像度を高める。

地域公共交通計画の基本構成(例)と本資料の目次	
計画の枠組みの検討	2
地域公共交通計画の基本構成(例) (30ページ程度)	ページ 番号
① 基本的な方針 ・ 課題の洗い出しの結果 ・ 地域交通の現状・課題 ・ 計画目標	5
② 計画区域、計画期間 ※記載義務事項	18
③ 施策・事業 ・ 施策の内容・実施主体・実施スケジュール	19
④ KPI ・ KPI・目標値	21
⑤ PDCAサイクル ・ 評価体制・評価スケジュール	30
● 地域の現状等 ● 上位・関連計画の整理 ● 自己評価シート	

※出典／資料 アップデートガイダンスより抜粋